

3つのWINで耕作放棄地 再生マニュアル

環太平洋大学 学生団体・アワーユニバース

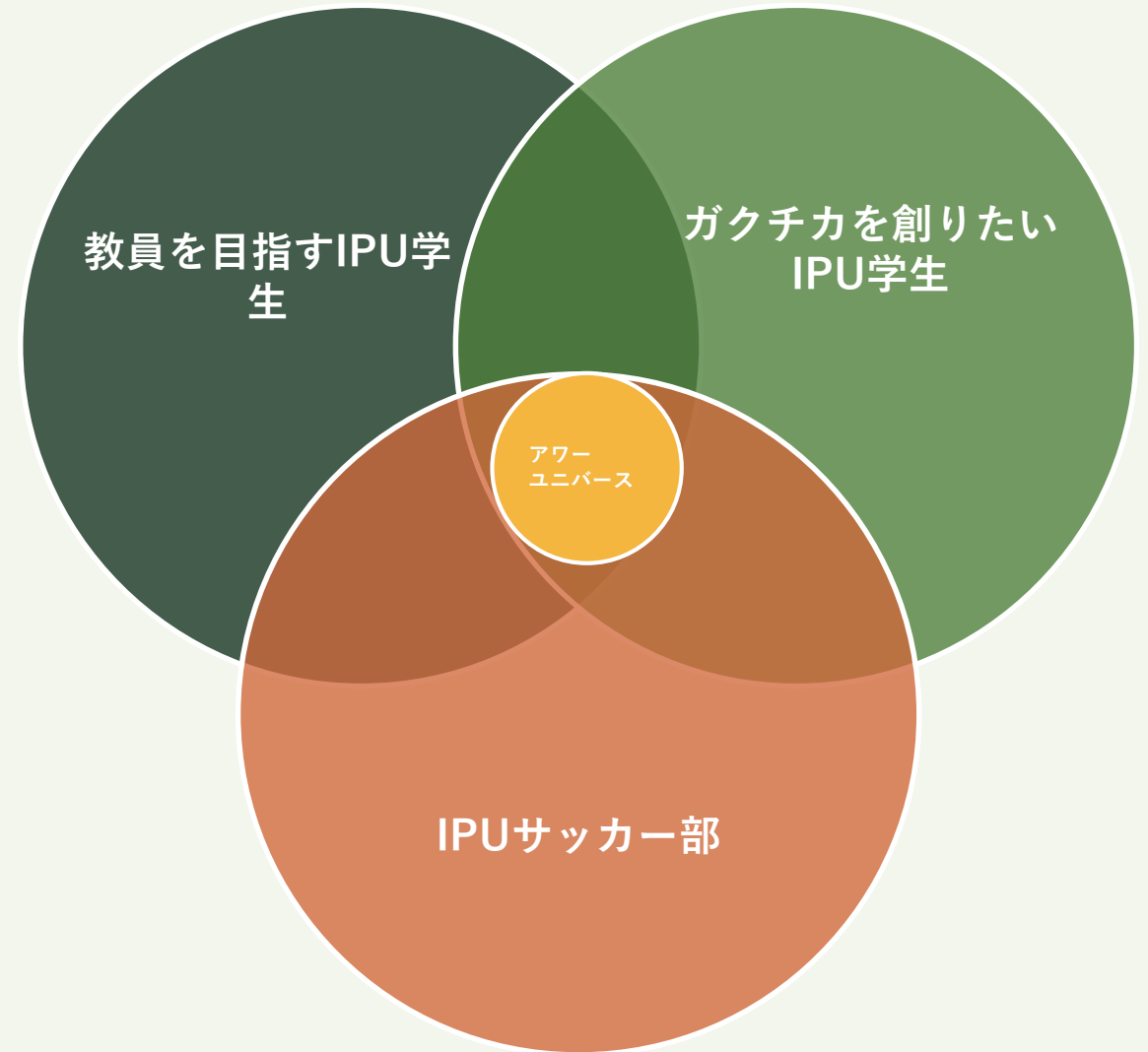
中村勇太 内山陽太 橋本翔人



アワーユニバースとは

【不登校支援】 × 【地域活性化】

を中心とした活動を行っています。



なぜ、耕作放棄地なのか



地方農家の社会的問題に着手することで地域活性化を促すとともに不登校児童とともに創り上げ、児童の社会化を促進させる

3つのWIN

1

【学生のWIN】

- 実践的な学び
- ガクチカに繋がる成果
- 教育的な学び
- 失敗から学ぶ力

2

【企業のWIN】

- 地域貢献・社会的評価
- 若い人材との接点
- 新規事業の種
- 低コストでの実証

3

【地域住民のWIN】

- 農地の保全
- 世代間のつながり
- 地域の活気
- 知恵の継承

～学生の力で創るフリースクール～

IPUブリッジの運営

大学の空施設を活用して、週に2回開校

岡山市補助金対象施設に認定されています



2025年度学生 イノベーションチャレンジ

ツリーハウスメイキング

準優勝



新たな挑戦2026

NEW



【フィールド】

笹岡地区（大学の周辺）から
無償提供で貸してもらった

2枚の耕作放棄地再生

【農地の広さ：約600㎡（1枚目）／約600㎡（2枚目）】





サッカー部 農業部隊結成

耕作放棄地再生から野菜収穫までの5ステップ

01

現状把握・計画

- ・ 現地の調査（雑草・ゴミ・排水）
- ・ 権利関係の確認・手続き
- ・ 初年度の作付け計画策定

02

開墾・障害物除去

- ・ 草刈り・低木の伐採
- ・ ゴミや大きな石の徹底除去
- ・ 根起こし（抜根）作業

03

土壌改良・土作り

- ・ 粗起こし（深耕で空気注入）
- ・ 苦土石灰による酸度調整
- ・ 堆肥の大量投入・養生

04

畝立て・作付け

- ・ 元肥の施用
- ・ 水はけ改善のための畝立て
- ・ マルチング・種まき
- ・ 苗植え

05

栽培管理・収穫

- ・ 草むしり・追肥・病虫害防除
- ・ 適切なタイミングでの収穫
- ・ 残渣片付け・次作への備え

理想の姿



作成：AI

2026年 6月

私たちの挑戦が
スタートしました





耕作放棄地

2026年6月

再生できるか・・・

不安と背中合わせ



試練① 土づくり



課題

硬い根と雑草による耕運・畝立て日程の調整不良・栄養不足

対策

毎日の作業時間を制限し負担を減らした。地元企業との連携で再生肥料を散布

結果

土壌改善の第一歩を踏み出す

試練② 水はけ



課題

降水時の畝間の水はけ不良

対策

水路を作成

結果

水はけ改善・水溜まり軽減

試練③ 苗植えの方法



課題

畝立て後の種まき・苗植えの知識不足

対策

地域住民の指導のもと畝作り

結果

苗植え・種まき・水やりのノウハウを会得

簡単な道のりでもなく・・・



刈っても刈っても
生える雑草



地域の方との関係ミス
によるお叱り



炎天下での作業

これから想定される試練



害獣被害

【対策：電柵の強化・新調】



未知での栽培管理

【対策：地域住民・企業との連携】



モチベーションの維持

【対策：再生活動の発信】

支えられながら
挑戦は続く・・・

